

科目名称:保育内容(人間関係)指導法 I					
担当者名:川邊 音生					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年前期	演習	必修	1	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24106221
授業概要:幼児は多様な人間関係を通じて自他理解、社会関係や社会性を発達させる。乳幼児期の子どもを取り巻く人間関係の現状と課題について学び、乳幼児期における「人とかかわる力」の育ちについて理解を深める。					
到達目標:①乳幼児期の子どもを取り巻く人間関係の現状と課題について知る。 ②乳幼児期における「人とかかわる力」の育ちについて理解を深める。 ③教材研究を通して、あそびの重要性を学ぶとともに、保育者に必要な協同性、実践力を養う。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 保育の基本(保育とは何か、環境を通して行う保育について事例をもとに考える)			事前に教科書を読み事例について考えをまとめておく(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第2回 領域としての「人間関係」(各領域との関係をグループワークで話し合い理解する)			事前に当該部分の教科書を読み各領域について確認する(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第3回 領域「人間関係」のねらい (仮想事例についてグループワークしねらいの内容を理解する)			事前に教科書、保育所保育指針でねらいを確認する(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第4回 領域「人間関係」の内容 (事例についてのグループワーク実施)			事前に保育所保育指針を読み内容を確認する(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第5回 新生児の人への関心 (赤ちゃんが持つ優れた能力を中心に新生児のコミュニケーションを理解する)			事前に教科書を読み赤ちゃんの持つ能力について理解する(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第6回 人との関わりの基盤 (アタッチメントの形成と機能などについて理解する)			事前に教科書を読みアタッチメントについて理解しておく(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第7回 乳幼児の社会性の発達(乳児の具体的な行動から、認知や人との関わり、コミュニケーションの発達を理解する)			事前に配布資料を読み内容に取り組む(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第8回 乳幼児の社会性の発達(1歳から2歳の発達について理解する)			事前に配布資料を読み内容に取り組む(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第9回 乳幼児の社会性の発達(3歳から6歳の発達について理解する)			事前に配布資料を読み内容に取り組む(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第10回 遊びの中での関わりの育ち(遊びの発達と人との関わり、遊びの中で関わりを育てる事について学ぶ)			事前に配布資料を読み、自分の実習経験をもとに遊びについて考える。事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第11回 事例をもとに遊びの機能、人との関わりについて考える(グループワーク)			事前に配布資料を読み事例について考えをまとめる(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第12回 事例をもとに遊びにおける関わりのいざごについて保育士の支援を考える(グループワーク)			事前に配布資料を読み事例について考えをまとめる(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第13回 子どもの自己主張を支える			事前に配布資料を読み自我の発達について理解し、事例課題について考えをまとめておく(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第14回 自立と依存(グループワーク)			事前に教科書と配布資料を参考に事例課題についての考えをまとめる(60)事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)		
第15回 まとめ			事後学習内容を振り返りフォーム課題を提出する(60)これまでの授業内容を整理し、復習しておく(60)		
履修に必要な予備知識や技能:子ども同士が遊んでいる場面や子どもと養育者が遊んでいる様子などに関心を持ち、気になる点があれば、書き留めておくこと					
課題に対してのフィードバック:毎授業後に提出したフォーム課題について、次回の授業冒頭で論点、質問等についてフィードバックする。					
評価方法・基準:定期試験 60%、フォーム課題 25%、授業参加率(受講態度を含む)15%					
教科書:教科書:実践保育内容シリーズ「人間関係」一藝社 参考書:「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)					
備考:参考文献として『ワークで学ぶ 保育内容「人間関係」』菊池篤子編(みらい)を使用する。 適宜映像資料を使用する。					
実務経験の内容・期間:					